

北海道胆振東部地震による被災地への 手作り洗濯石鹸の寄贈について

志木市立志木中学校（校長 小林良昭）では、防災教育や福祉教育に重点をおいた実践を全校で取り組んでおります。

その一環として、同校科学部が作製した「手作り洗濯石鹸」を北海道胆振東部地震の被災地に寄贈します。

1 作製期間

平成30年9月19日～10月9日

2 作製者

志木市立志木中学校 科学部（志木市柏町3-2-2）

（2年生9名・1年生15名 計24名 顧問：教諭 門出朋美）

3 内容

北海道胆振東部地震発生を受け、志木市立志木中学校科学部の生徒達が、「被災地に私達ができることはないか。」について話し合い、「手作り洗濯石鹸」を作製して、被災地に寄贈することにしました。

石鹸の原料は、給食で使用した後の廃油です。これに化成ソーダと、廃油の匂いを抑えるためのアロマオイルを加え、ペットボトルを使用して混ぜ合わせ、乾燥させ、完成したものです。

約3～4cm四方、厚さ約1cmに成形した石けんをメッセージ付きの袋に2個ずつ入れたものを200セット作製しました。

これを市教育委員会を通じて北海道厚真町に寄贈します（11月5日（月）送付予定）。

記者発表資料

平成30年11月5日

志木市教育政策部学校教育課

教育指導グループ

担当者／副課長兼指導主事 関口真仁

電話番号／048-473-1111

内線3125

志 木 市